

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市垂水町3丁目 計画	階数	地上11F
建設地	吹田市垂水町3丁目25番4	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	77 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2016年5月1日
敷地面積	500 m ²	作成者	(有)アークプラン 丸山祥孝
建築面積	311 m ²	確認日	2016年5月1日
延床面積	2,518 m ²	確認者	(有)アークプラン 丸山祥孝

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 79% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 79% (92 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 79% (46 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	3.0
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7

機能性	2.4
耐用性	2.6
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	1.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.5
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.5
汚染物質	3.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.8
地域環境	2.3
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギー、省資源により、地球環境に配慮しました。また、建物全体が、周辺環境に溶け込む計画としました。	その他 周辺環境を破壊しないように仕上げ、また照明器具などは奇抜にならないような計画としました。
Q1 室内環境	化学物質を含まない仕上げ材を使用するよう配慮しました。	Q3 室外環境(敷地内) 化学物質を含まない仕上げ材を使用するよう配慮しました。
Q2 サービス性能	共用部、専用部分ともにとりのある空間設計としました。	
LR1 エネルギー	高効率の照明器具の採用により、省エネルギーを考慮しました。	LR3 敷地外環境 近隣に対する光害対策の実施(照明器具のタイマー制御)
LR2 資源・マテリアル	便器などの設備機器に節水タイプを使用することにより、水資源の保護を考慮しました。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0038

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市垂水町3丁目 計画					
	建設地	吹田市垂水町3丁目25番4					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 3.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.5	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	1.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
その他				
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項	
特に配慮した事項				